



村上 諫さん
Murakami Isamu

〔下豊内区〕

むらかみ いさむ / 華道家元池坊師範。町公民館主催講座「生け花教室」の講師を務め、自身の農地を利用した甲佐小児童の農業体験学習も支援。

花を通じて伝わる心と笑顔が 元気と長生きにつながる

「生け花や農業体験学習を通して出会ったすべての人の笑顔が私の生きがいです。みんなの笑顔をつくる活動を生涯続けていくことが、今の私の目標です」と話すのは、華道家元池坊師範の村上諫さん

〔下豊内区〕

家業である花農家をしながら、40歳代後半に「生産だけではなく、花を生けたり教えたりしたい」と師範免状を取得。その資格を生かし、町公民館主催講座「生け花教室」

や母校の御船高校の華道クラブなどで講師を務めている。華道家元池坊は「自然にある草花の姿をありのままに生かす」ことが理念。「自然の中にある草花の魅力を引き出し、器の中でより美しく際立たせる形をつくるのが基本。自然にあるものはそれぞれに可能性を秘めていて、生ける人によって違う形ができることが魅力です」と村上さん。

「人も生け花も、経験を重ねることに成長することが出来ます。指導することが自分の成長にもつながるので、私も毎日が勉強で、まだまだ修行の身です」と生け花の奥の深さを笑顔で語る。

村上さんは昨年、年齢にとられず自らの意思と能力を生かし自由で生き生きとした生活を送ることや社会参加活動を行う高齢者を内閣府が紹介する「エイジレス・ライフ実践事例」に選考された。甲佐小児童を対象として、自身が所有する農地での野菜作り指導やイモ掘り体験などを10年以上前から実施している。地域住民などと児童たちの交流の場づくりに力を入れている村上さんは、「子どもたちの『楽しかった』の言葉と笑顔がうれしくて活動を続けています」とほほ笑む。

今年90歳を迎える村上さんは、「いろんな活動を通してたくさんの人を笑顔にすることが、長生きの秘訣（ひけつ）」。これからも取り組んでいきます」と自身と地域の無限の可能性に思いをはせる。

広報 こうさ

2016年（平成28年）2月号
通巻559号